

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	生涯学習市民講座開設事業	担当課	教育課
細分化した事業名	生涯学習市民講座開設事業		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり	
	政策	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	施策	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	韮崎市公民館条例

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	子どもから高齢者まで、市民の必要課題と多様な学習要求に応えるため、学習機会の場を提供し、時代に即応した講座等を企画実施し、幅広い市民の受講・参加を促し、豊かな地域づくりをする市民の育成
事業の手段	市が依頼した講師による各種講座・教室の実施 広報や学校をとおして配布するチラシによる開催の周知 生涯学習教養講座（ふるさと歴史再発見ウォーク・パソコン講座・筆ペン講座等）、親子ふれあい体験教室、子育て支援サロン“銀河鉄道”、「おいでなって塾」出前塾
事業の対象	市民（成人・高齢者・児童・幼児）

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	821	814	1,165
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	5		
	一般財源	816	814	1,165
B	担当職員数(職員E) (人)	0.28	0.28	0.29
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,910	1,872	1,882
D	総事業費(A+C) (千円)	2,731	2,686	3,047
主な事業費用の説明	報償費(講師等謝金) 627千円、需用費(陶芸電気炉用消耗品・修理等) 333千円、使用料(施設使用料) 119千円			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 開催講座数	講座回数(回)	73	69	88
	2 受講者数	延べ人数(人)	2,853	2,551	3,390
	3				
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	各講座参加者の意見などを聞きながら、時代に対応した講座を開催している。講座の延べ開催数も前年度より約1.3倍に増加している。			
	2	講座への参加者募集は、市広報への掲載、リーフレットを作成し事業の周知を図っている。講座回数の増加に伴い、受講者数も1.3倍以上増えたので、妥当である。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	受講率 受講者数/定員数 (%) 941人/950人 (定員の無いコンサートと塾除く)	111.0	106.4	99.1
	2	受講者1人あたりの経費 事業費/総受講者数 1,165千円/3,390人	288	319	344
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	前年度に比べ、講座数・受講者数とも増加しており、受講率は100%を僅かに割ったものの、高い受講率を維持している。			
	2	事業費全体が43%増の中で(陶芸電気炉用の消耗品費の増加)、受講者1人あたりの経費は前年度より約8%の増加だったので、経費としては妥当である。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) ・講座によって、定員割れのものや定員を上回るものがあるので、さらに市民ニーズを聞きながら時代に即した講座を企画する。 ・一定の成果が得られた事業は、新たな事業の採択のため、自主サークル活動への移行を検討。
過去の改善経過	・平成12年度にパソコン講座用のパソコン設置 ・平成14年度より中央公民館長の常勤 ・平成23年度より市民交流センターを中心とした開催場所の提供
課長所見	各事業共に一定の成果及び期間設定をして、新規事業採択に向けた自主活動の移行を行うよう努める。